

## 瀋陽駐在員事務所



市内病院の外観

### いざという時の・・・

海外生活でいざという時、本当に必要なもの。それは病院です。当地瀋陽では、昨年から、365日、24時間、完全日本語対応可能なサービスが始まりました。電話すると受付から診断まで専門スタッフが親身に付き添ってくれるサービスです。病院そのものは、中国資本の中国人（特に高級幹部と富裕層）向け病院なのですが、外国人が利用し易いように、病室が個室だったり、最新鋭の設備を導入したりと、先進諸国と変わらない医療サービスを日本語で受けることが出来ます。

更に本年7月には往診を専門とする日本人向けのサービスも始まりました。対日本人専門、キャッシュレスサービス、完全日本語・24時間対応を目玉とする訪問医療サービスです。中国人医師、医療通訳、ドライバーの3人をセットにして、連絡すると事務所や自宅まで駆けつけ、主に内科診断を実施してくれます。医師による診断後、市内大手の提携病院を紹介するのが柱ですが、簡易な症状であればその場で処方し治療薬も頂けます。キャッシュレスですので、現金を準備しておく必要もなく、海外保険を適用し気軽にサービスを受けることが出来るようです。

国交回復から40年たった日中関係ですが、確実に、そして深く関係が深まって来ています。

渋川 隆彦

## (財)日中経済協会北京事務所 札幌経済交流室

### 北海道居酒屋オープン！



スープカレー



「旬鮮本舗」外観

現在、北京には300軒以上の「日式料理屋」があると言われております。日系企業の進出増により、日本人駐在員が増え、ニーズに応えるべく、様々な形態の「日式料理屋」が存在します。日本人が経営している店、日本人が料理指導し中国人に任せている店、全く関わりは無いが「日式」を名乗っている店等、様々です。

そんな中、本年8月に北海道居酒屋「旬鮮本舗」がオープンしました。

こちらのお店は、店長が函館出身であり、現段階では、北京唯一の北海道居酒屋です。一般的な居酒屋メニューに加え、「ジンギスカン」「ザンギ」「ちゃんちゃん焼き」等、北海道ならではのメニューがあり、中でも一番人気は「スープカレー」です。残念ながら、小職はカレーが食べられないので何とも言えませんが、食べた方の感想は、北海道で食べる味となんら遜色がないという事で、皆さん絶賛しております。

海外で生活する上で、大事な要素の一つに「食」が挙げられます。「北海道の味」を北京で食べる事ができるというのは、非常にありがたい事であり、同じ北海道人として、引続き「旬鮮本舗」を応援していきたいと思っております。

佐藤 孝太郎

## ユジノサハリンスク駐在員事務所

### 北海道フェア2012 in サハリン



スイカとメロン



北海道フェア 2012

先月、北海道・北海道経済産業局主催による道産食品を中心とした北海道物産展（今年2回目）がユジノサハリンスク市の大型ショッピングセンター“シティーモール”で開催（3日間）されました。昨年はウラジオストク経由で展示食品を運びましたが、今年は稚内ーコルサコフ間フェリーを利用。昨年は売れ筋商品が开店後3時間程度で品切れとなったため、今年は数量も1.5倍に増やし、品数も20品目から43品目へ増加。開催日程が金・土・日の週末で天候に恵まれ、郊外への人出で来場客数の心配もありましたが、予想通りの賑わいで、盛会に終わりました。

なかでも超目玉商品は、今回、初お目見えの生鮮食品“スイカ”と“メロン”はお昼過ぎには完売してしまうほどの人気振りでした。私も実際にパッピを着て販売を手伝いましたが、飛ぶように売れていました。聞いてみると、道産食品は「安心」「美味しい」「健康的」が人気の高い理由の様です。このように、北海道の生鮮食品に対する高いニーズがある一方で、通関や生鮮食品を流通させる仕組みに問題点が多いことも今回確認されました。よって、貿易拡大にどう発展させて行くかが、今後の大きな課題だと思います。

三上 訓人